

# TUP500

ソフトウェアマニュアル

***- Status Monitor -***



## 目 次

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1. 設定方法 .....                   | 2 |
| 1.1 デバイスの選択：Select Device ..... | 3 |
| 1.2 ステータス取得：Get Status .....    | 5 |
| 1.3 コマンドライン引数の設定方法 .....        | 6 |
| 2. ステータス一覧 .....                | 7 |
| 3. メッセージ一覧 .....                | 8 |
| 4. 改訂履歴 .....                   | 9 |

## はじめに

- TUP500 Status Monitor は Windows 2000(SP3 以降) / XP / Vista 32bit に対応しています。  
また、64bit OS には対応しておりません。
- TUP500 Status Monitor を使用して、TUP500 プリンタのステータスを取得・確認することができます。
- 任意の場所に解凍することでご使用いただけます。
- デバイスの選択により、プリンタキューを指定してステータスの取得を行う方法と、ポートを指定してステータスの取得を行う方法の2種類の動作が可能です。

それぞれ以下のような特徴があります。

| プリンタキューを指定：<br>Select Printer Queue (Printer User)  | ポートを指定：<br>Select Port  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TUP500 プリンタドライバおよびランゲージモニタのインストールが必要</li> <li>・ 登録されているプリンタキューが表示されるので選択するだけで使用可能</li> <li>・ デバイスリセットは非対応</li> <li>・ USB : Vendor Class は非対応</li> <li>・ Star Line Mode 対応</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別のソフトウェアのインストールは不要 ※ 1</li> <li>・ I/F 選択・PortName の入力等、設定が必要な場合がある</li> <li>・ デバイスリセットが可能 ※ 2</li> <li>・ USB : Vendor Class に対応</li> <li>・ Star Line Mode ・ Star Page Mode 対応</li> </ul> |

※ 1 USB : Printer Class ではプリンタドライバが必要

※ 2 取得方法・I/F に制限事項あり

ご使用の環境・用途に合ったデバイスを選択してご使用ください。

- ESC/POS モードでの使用には対応しておりません。
- TUP500 Status Monitor は、設定値の保存に対応しておりませんが、ショートカットを作成してコマンドライン引数を指定することにより、TUP500 Status Monitor の起動時の状態を指定することができます。詳しくは「1.3 コマンドライン引数の設定方法」をご参照ください。
- この TUP500 Status Monitor 圧縮プログラムには SDK を含んでおり、お客様がステータス取得のプログラムを作成する際の参考にご利用いただけます。(対応言語：c++)  
SDK は、解凍した任意の場所の "TUP500\_StatusMonitor\_Ver1\_0\SDK" に格納されています。  
詳しくは解凍した任意の場所の "TUP500\_StatusMonitor\_Ver1\_0\SDK\C++\StatusMonitor" に格納されている readme.txt をご参照ください。

## 1. 設定方法

TUP500 Status Monitor の起動は、以下の手順で行ってください。

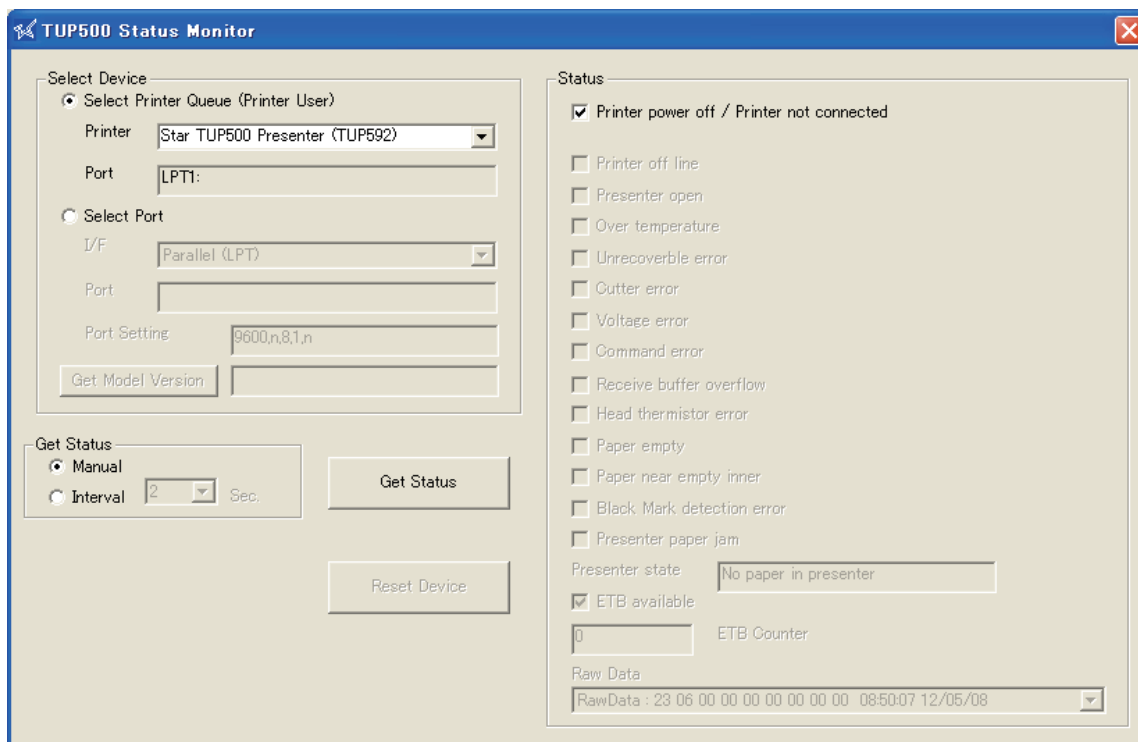
### ■ Windows 2000(SP3 以降) / XP の場合

解凍した任意の場所から [Star\_TUP500\_StatusMonitor\_Ver1\_0\StatusMonitor\StatusMonitor.exe] を実行してください。

### ■ Windows Vista の場合

解凍した任意の場所から [Star\_TUP500\_StatusMonitor\_Ver1\_0\StatusMonitor\StatusMonitor.exe] を右クリックし、プルダウンメニューより [管理者として実行] を選択してください。

以下の画面が表示されます。



※プリンタキュー設定済み画面

## 1.1 デバイスの選択：Select Device

### 1.1.1 プリンタキューを指定してステータスを取得する場合：Select Printer Queue (Printer User)

プリンタキューを指定してステータスを取得するには、"Select Device" より "Select Printer Queue" を選択します。

■ 事前に以下の準備が必要です。

- ・ TUP500 プリンタドライバおよびランゲージモニタのインストール
- ・ プリンタキューの作成
- ・ プリンタドライバにてステータスの取得が可能となるよう設定

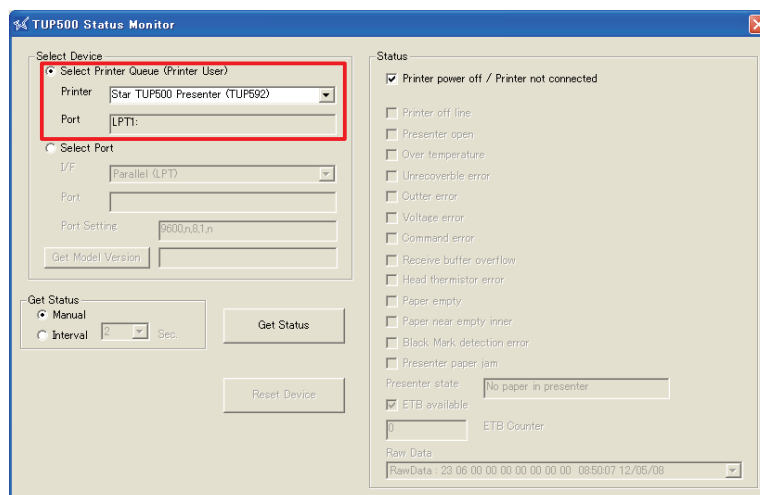
[ プリンタのプロパティ ]-[TUP500 設定] タブより、「プリンタステータス設定ツール」を起動してプリンタステータス "有効" にチェックを付けます。

詳しくは別冊の TUP500 ソフトウェアマニュアル「1. インストール / アンインストール」および「3.1 プリンタステータス設定ツール」をご参照ください。

上記の条件が整った環境で TUP500 Status Monitor を起動しますと、「Select Printer Queue」の "Printer" リストボックスにインストールされている TUP500 プリンタが表示されます。

ステータスを取得したいプリンタを選択してください。

"Port" には、選択したプリンタのポート名が表示されます。

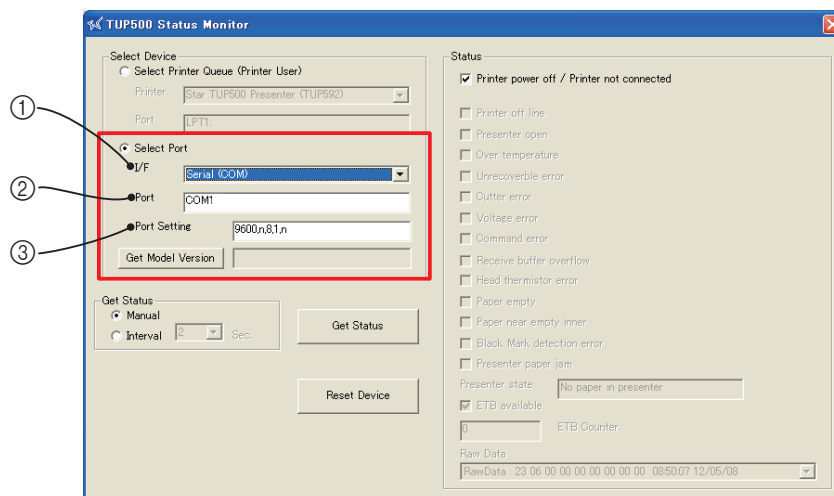


注記：USB : Vendor Class での使用には対応していません。

また、仮想ポートエミュレーターを使用して作成したポート名では使用できません。

## 1.1.2 ポートを指定してステータスを取得する場合：Select Port

ポートを指定してステータスを取得するには、"Select Device" より "Select Port" を選択します。



- ① ステータスを取得するポートのインタフェースを選択します。  
Parallel(LPT) / Serial(COM) / USB Vendor Class / USB Printer Class / LAN より選択が可能です。
- ② ポート名を設定します。  
インタフェース (①) を選択すると、そのつど設定値に応じた初期値が設定されます。  
設定内容はインタフェースによって異なり、さらに設定が必要な場合もあります。

| I/F ①             | ポート名 ②  |                  |                                       |
|-------------------|---------|------------------|---------------------------------------|
|                   | 初期値     | 設定内容             | 設定例                                   |
| Parallel(LPT)     | LPT1    | LPT ポート番号        | LPT1                                  |
| Serial(COM)       | COM1    | COM ポート番号        | COM1                                  |
| USB Vendor Class  | usbven: | usbven: (省略) ※ 1 | usbven:                               |
|                   |         | usbven:COM ポート名  | usbven:com1                           |
| USB Printer Class | usbprn: | usbprn: プリンタキュー名 | usbprn:STAR TSP500 Presenter (TUP592) |
| LAN               | TCP:    | TCP:IP アドレス      | TCP:192.168.32.100                    |

※ 1 最初に割り当てられた COM ポートが選択される

- ③ ポートの設定内容を設定します。  
Serial (COM) I/F 使用時のみ必要です。プリンタの設定内容に合わせて設定してください。

| 初期値          | 設定内容  | 設定例           |
|--------------|---|---------------|
| 9800,n,8,1,h | ボーレート (38400/19200/9600/4800), パリティ (n/e/o), データビット (7/8), ストップビット (1), フロー制御 (h/n) ※ 2 | 38400,n,8,1,n |

※ 2 フロー制御 "Xon/Xoff" には対応していません。

[ Get Model Version ] をクリックすると、接続しているプリンタの Fw バージョンを表示します。

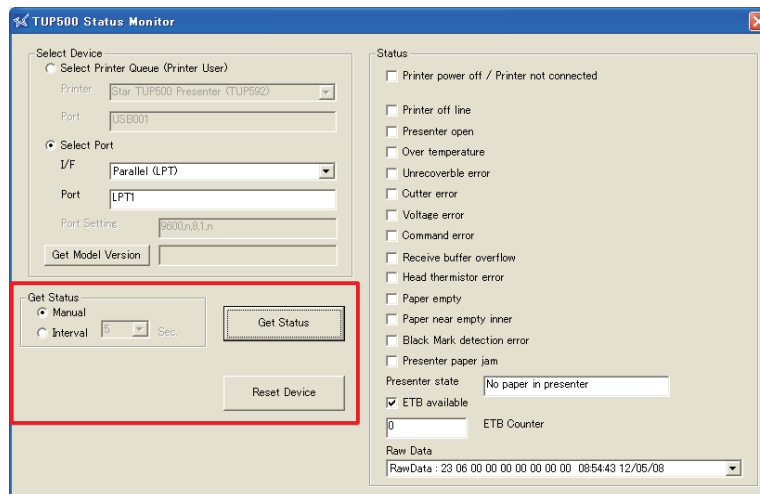
**注記：** 1) 仮想ポートエミュレーターを使用して作成したポート名では使用できません。  
2) プリンタドライバで使用されているポートを指定した場合、ステータスの取得が行えないことがあります。

## 1.2 ステータス取得：Get Status

TUP500 Status Monitor は、Manual（手動）／Interval（自動）によるステータスの取得が行えます。

### 1.2.1 手動取得：Manual

ステータスの取得を手動で行うには、"Get Status" より "Manual" を選択します。



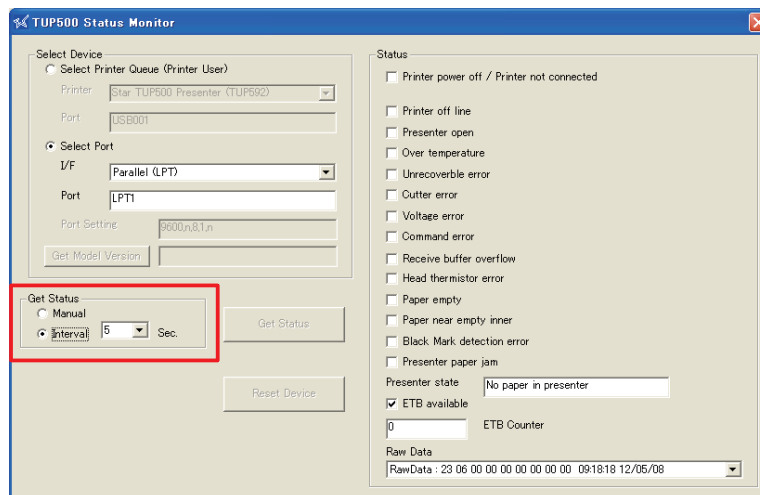
[ Get Status ]      ステータスを取得して表示します。

[ Reset Device ]    TUP500 Status Monitor からプリンタのリセットを行います。

注記： "Reset Device" は、Serial(COM) I/F ・ LAN I/F での使用には対応していません。  
また、Parallel(LPT) では、プリンタの DIP-SW 1-5 が ON の時に動作します。

### 1.2.2 自動取得：Interval

ステータスの取得を自動で行うには、"Get Status" より "Interval" を選択します。



ステータスを取得する周期を（1,2,5,10）秒から選択します。  
指定した周期でステータスを取得して表示を更新します。



### 1.3 コマンドライン引数の設定方法

Status Monitor.exe へのショートカットを作成し、パラメータを設定することにより、Status Monitor の起動時の状態を指定することができます。

パラメータは、作成したショートカットのリンク先に以下のフォーマットで設定することができます。

#### StatusMonitor.exe P1 P2 P3 P4 P5

##### ■ プリンタキューを指定する設定パラメータ

|    |   |
|----|---|
| P1 | Printer/Port の選択<br><b>Printer</b> ランゲージモニターからステータスを取得します。  |
| P2 | ステータス取得方法 (Manual/1/2/5/10)<br><b>Manual</b> 手動取得: "Get Status" ボタンによりステータスを取得します。<br><b>1,2,5,10</b> 自動取得: 1,2,5,10 秒周期でステータスの取得を行います。 |
| P3 | Printer Queue Name: プリンタと FAX フォルダに表示されているプリンタキュー名  |

例) StatusMonitor.exe Printer M "Star TUP500 Presenter(TUP592)"

StatusMonitor.exe Printer 2 "Star TUP500 Presenter(TUP592)(コピー 1)"

##### ■ ポートを指定する設定パラメータ

|    |   |
|----|---|
| P1 | Printer/Port の選択<br><b>Port</b> StarIO からステータスを取得します。   |
| P2 | ステータス取得方法 (Manual/1/2/5/10)<br><b>Manual</b> 手動取得: "Get Status" ボタンによりステータスを取得します。<br><b>1,2,5,10</b> 自動取得: 1,2,5,10 秒周期でステータスの取得を行います。 |
| P3 | Port: ステータスを取得するポートの種類 (LPT/COM/USB Printer Class/USB Vendor Class/LAN)   |
| P4 | Port Name: ステータスを取得するポート名   |
| P5 | Port Setting: シリアル I/F のポートの設定  |

※ P3,P4,P5 の設定値に関して、詳しくは「1.1.2 ポートを指定してステータスを取得する場合」をご参照ください。

例) StatusMonitor.exe Port M LPT LPT1

StatusMonitor.exe Port M COM COM1 38400,n,8,1,h

StatusMonitor.exe Port 2 "USB Vendor Class" usbven

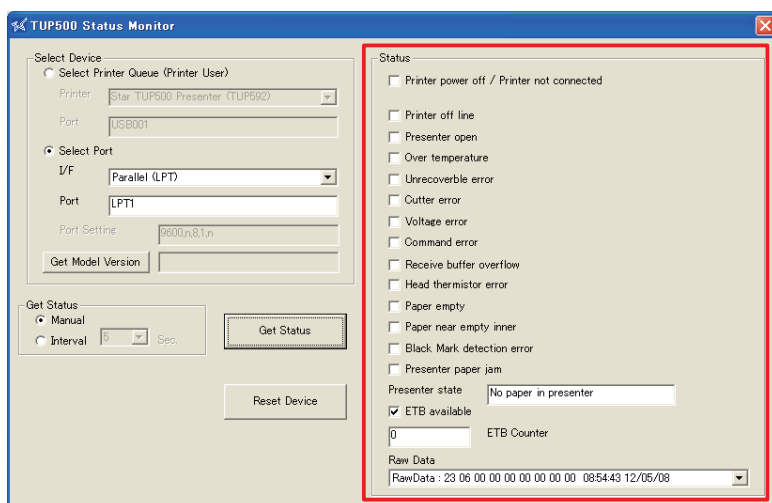
StatusMonitor.exe Port 5 "USB Printer Class" "usbprn:Star TUP500 Presenter(TUP592)"

StatusMonitor.exe Port 10 LAN TCP:192.168.32.100

**Point!** パラメータに誤りがあっても、その前までのパラメータは有効となります。

## 2. ステータス一覧

取得できるステータスの種類・内容は、下表の通りです。



| 表 示  | 内 容                          | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|--|------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| Printer power off /<br>Printer not connected | プリンタ電源 / プリンタ通信              | OFF / 不可                            | ON / 可                   |
| Printer off line                             | ON-LINE / OFF-LINE 状態        | OFF-LINE                            | ON-LINE                  |
| Presenter open                               | プレゼンタの状態                     | オープン                                | クローズ                     |
| Over temperture                              | ヘッド高温による停止                   | 停止中                                 | 稼動中                      |
| Unrecoverble error                           | 復帰不可能エラー                     | エラー発生                               | エラー無し                    |
| Cutter error                                 | オートカッターエラー                   | エラー発生                               | エラー無し                    |
| Voltage error                                | 電源電圧エラー                      | エラー発生                               | エラー無し                    |
| Command error ※ 1                            | コマンドエラー                      | エラー発生                               | エラー無し                    |
| Receive buffer overflow                      | 受信バッファオーバーフロー                | オーバーフロー発生                           | オーバーフロー発生無し              |
| Head thermistor error                        | ヘッドサーミスタエラー<br>(サーミスタ故障・断線等) | エラー発生                               | エラー無し                    |
| Paper empty                                  | 用紙エンド (排出口)                  | 用紙無し                                | 用紙あり                     |
| Paper near empty inner                       | 用紙ニアエンド (内側)                 | 用紙無し                                | 用紙あり                     |
| Black Mark detection error                   | ブラックマークエラー                   | エラー発生                               | エラー無し                    |
| Presenter paper jam ※ 2                      | プレゼンター紙ジャムエラー                | エラー発生                               | エラー無し                    |
| Presenter state ※ 2                          | プレゼンタ用紙位置                    |                                     |                          |
|  | ・ プレゼンタ内部に用紙がない状態            | No paper in presenter               |                          |
|  | ・ 用紙を給紙した状態 (ループ状態)          | Paper loaded(Loop)                  |                          |
|  | ・ 用紙を排出した状態 (引き抜き可能)         | Paper ejected                       |                          |
|  | ・ 用紙回収状態                     | Paper retracted                     |                          |
|  | ・ 用紙が引き抜かれた状態                | Pull out paper                      |                          |
| ETB available                                | ETB の状態                      | 有効                                  | 無効                       |
| ETB Counter                                  | ETB カウンター                    |                                     |                          |
| Raw Data                                     | プリンタからの生データ                  |                                     |                          |

※ 1 ポート指定時、Star Page Mode のみで有効 ※ 2 TUP592 のみで有効

注記：1) "Presenter state" を動作させるには、メモリスイッチの [ 通信設定 ] - [ ASB プレゼンタ用紙位置ステータス ] を " 有効 " に設定してください。

2) ステータスの詳細については、別冊の「コマンド仕様書」をご参照ください。

### 3. メッセージ一覧

以下のメッセージが表示された場合には、下表を参考にして対処してください。

| メッセージ  | 内容と対処方法   |
|--|---|
| Language Monitor is not installed !  | ランゲージモニターがインストールされていません。<br>ランゲージモニターをインストールしてください。                                   |
| Can't find stsmon.dll !  | "stsmon.dll" が見つかりません。<br>ランゲージモニターを再インストールしてください。                                    |
| Can't get printer status. Check the printer driver setting !                   | プリンタステータスを取得できません。<br>プリンタドライバの設定を確認してください。   |
| Illegal first parameter ! (Set Printer/Port)                                   | 第 1 パラメータが正しくありません。<br>(Printer/Port) から値を設定してください。                                   |
| Illegal second parameter ! (Set M/1/2/5/10)                                    | 第 2 パラメータが正しくありません。<br>(M/1/2/5/10) から値を設定してください。                                     |
| Illegal third parameter ! (Set LPT/COM/USB Vendor Class/USB Printer Class/LAN) | 第 3 パラメータが正しくありません。<br>(LPT/COM/USB Vendor Class/USB Printer Class/LAN) から値を設定してください。 |
| Wrong port name !  | ポート名が正しくありません。  |
| Error on Open Port. Check the Port !   | ポートが開けません。ポートを確認してください。   |
| Error on <Get Model Version>. Check the Printer !                              | モデルバージョン取得エラーです。プリンタを確認してください。  |
| Now getting status.Please wait for a while.                                    | ステータス取得処理中です。少しお待ちください。   |
| Do you want to quit this program ?   | StatusMonitor を終了しますか？  |

[illegible]



**特機事業部**

〒424-0066

静岡県静岡市清水区七ツ新屋 536

電話：054-347-0112 ( 営業直通 )

<http://www.star-m.jp/dl/dl02.htm>

---

TUP500 Status Monitor Rev. 1.0 2008.12.5

Printed in Japan, 80870620